

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 6 日(2024.11.6)

【公開番号】特開 2023-69123(P2023-69123A)
【公開日】令和 5 年 5 月 18 日(2023.5.18)
【年通号数】公開公報(特許)2023-091
【出願番号】特願 2021-180772(P2021-180772)
【国際特許分類】
A 63 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 63 F 5/04 620

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 10 月 28 日(2024.10.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、
スタートスイッチの操作に応じて、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリール
を回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作
された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手
段と、

特定の役の入賞を補助する補助演出を行う補助演出実行手段と、
前記補助演出を行うことが可能な有利区間、および、前記有利区間とは異なる非有利区間
を含む複数種類の遊技区間のいずれかに移行させる遊技区間制御手段と、
当選役の入賞に基づいて遊技価値を払い出す払出制御手段と、
を備え、

30

複数のリールは、第 1 リール、第 2 リール、および、第 3 リールを含み、
前記当選種別として、複数種類の小役が重複して当選する選択当選種別が複数種類存在
し、

複数種類の前記選択当選種別のそれぞれには正解操作態様が設定されており、
前記第 2 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種
別と、前記第 3 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当
選種別とが存在するが、前記第 1 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様
となる前記選択当選種別は存在せず、

40

前記リール制御手段は、前記選択当選種別が当選した遊技において、
前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1 遊技に対
してベットされる遊技価値よりも多い遊技価値が払い出される小役が入賞するように前記
リールを停止制御し、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である不正解操作態
様のうち、前記第 1 リールを最初に停止させる第 1 の不正解操作態様で停止操作が行われ
た場合、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役
が必ず入賞するように前記リールを停止制御し、

前記不正解操作態様のうち、前記第 2 リールまたは前記第 3 リールを最初に停止させる
第 2 の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1 遊

50

技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役が入賞する場合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、前記リールを停止制御し、

前記当選種別として、前記選択当選種別において重複して当選する、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役が少なくとも一つ重複して当選する小役当選種別が存在し、

前記選択当選種別および前記小役当選種別は、いずれも前記有利区間に移行させる抽選を行うことが可能な有利区間抽選可当選種別である

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、このような課題に鑑み、メダルを安定的に獲得させつつ、遊技のバリエーションを高めることが可能な遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段（例えば、当選種別抽選手段304）と、スタートスイッチ（例えば、スタートスイッチ118）の操作に応じて、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリール（例えば、リール110）を回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段（例えば、リール制御手段306）と、特定の役の入賞を補助する補助演出を行う補助演出実行手段（例えば、段落35、36に記載された補助演出実行手段）と、前記補助演出を行うことが可能な有利区間、および、前記有利区間とは異なる非有利区間を含む複数種類の遊技区間のいずれかに移行させる遊技区間制御手段（例えば、段落67～73、図8に記載された演出状態制御手段314）と、当選役の入賞に基づいて遊技価値を払い出す払出制御手段（例えば、払出制御手段310）と、を備え、複数のリールは、第1リール（例えば、左リール110a）、第2リール（例えば、中リール110b）、および、第3リール（例えば、右リール110c）を含み、前記当選種別として、複数種類の小役が重複して当選する選択当選種別（例えば、段落50、57、58、図6に記載された当選種別「打順ベル」）が複数種類存在し、複数種類の前記選択当選種別のそれぞれには正解操作態様が設定されており、前記第2リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別（例えば、段落57、58、図3、5、6に記載された当選種別「打順ベルA3」）と、前記第3リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別（例えば、段落57、58、図3、5、6に記載された当選種別「打順ベルA5」）とが存在するが、前記第1リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる前記選択当選種別は存在せず、前記リール制御手段は、前記選択当選種別が当選した遊技において、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも多い遊技価値が払い出される小役（例えば、段落57、58、図3、5、6に記載された当選役「小役3」、「小役5」）が入賞するように前記リールを停止制御し、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である不正解操作態様のうち、前記第1リールを最初に停止させる第1の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技

10

20

30

40

50

価値が払い出される小役（例えば、段落 5 7、5 8、図 3、5、6 に記載された当選役「小役 1 6」～「小役 1 9」）が必ず入賞するように前記リールを停止制御し、前記不正解操作態様のうち、前記第 2 リールまたは前記第 3 リールを最初に停止させる第 2 の不正解操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役（例えば、段落 5 7、5 8、図 3、5、6 に記載された当選役「小役 2 4」、「小役 2 7」、「小役 3 2」、「小役 3 4」）が入賞する場合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、前記リールを停止制御し、前記当選種別として、前記選択当選種別（例えば、当選種別「打順ベル A 3」）において重複して当選する、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも少ない遊技価値が払い出される小役（例えば、段落 5 7、5 8、図 3、5、6 に記載された当選役「小役 1 7」）が少なくとも一つ重複して当選する小役当選種別（例えば、当選種別「リーチ目 4」）が存在し（特許第 7 4 2 8 3 8 5 号からの追加要素）、前記選択当選種別および前記小役当選種別は、いずれも前記有利区間に移行させる抽選を行うことが可能な有利区間抽選可当選種別（例えば、段落 4 3、図 6 に記載された有利区間抽選可当選種別「」）である（特許第 7 4 2 8 3 8 5 号からの追加要素）。

10

20

30

40

50